

気候変動の影響による被害の回避・軽減対策（適応策） ー農業・林業分野編ー

VOL.62

地球温暖化対策は、大きく分けて「緩和」と「適応」の二本柱があります。

「適応」とは、温室効果ガスの削減などの緩和策を行ったとしても回避することのできない、既に起こりつつある、あるいは起こりうる影響に対する対策のことです。

今回は、農業・林業分野における気候変動影響と適応策について見ていきます。

気候変動により予測される影響等

	小麦	日射量低下で収量減少。降水量増加により、倒伏、穂発芽、赤カビ病が発生し品質低下
	大豆	収量は増加。高温による裂皮が発生し品質低下。病虫害被害拡大
	小豆	収量は増加。病虫害被害拡大
	てんさい	気温上昇により収量は増加するが、根中糖分は低下。糖量はやや増加。病害多発
	ばれいしょ	土壌凍結深が浅くなり、収穫時こぼれた小イモの雑草化
	牧草	収量は日射量低下で減少
	飼料用 とうもろこし	気温の上昇、昇温程度に合わせた品種変更で収量は増加。病害多発懸念
	畜産	気温上昇による暑熱対策経費の増加
	病虫害・ 雑草等	道内未発生害虫の新たな発生。雑草の定着可能域の拡大や北上。海外からの新疾病の侵入等
	農業生産 基盤	多雨年と渇水年の変動幅の拡大、短期間強雨の増加。融雪の早期化や融雪流出量の減少による農業用水の需要への影響
	木材生産 (人工林等)	降水量の増加等による植生変化に伴う人工林施業への影響 病害獣害の発生・拡大による材質悪化

士幌町における適応策

- ・ 気象状況に応じた営農技術対策を推進します。
- ・ 農用地の排水整備について、関係流域町と連携を図りながら進めていきます。
- ・ 森林の適切な保全・管理を計画的に進めていきます。
- ・ 森林病虫害の早期発見及び早期防除に努めます。